学校番号	2101

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	（学）篆刻・刻字	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎からゆっくり学んでいきます。美しい読みやすい文字を書くことを目標にします。
・丁寧に根気よく、何度でも繰り返し、粘り強く練習することが大切です。
・授業ではボールペンと細筆と筆ペンを使用します。

2　学習の到達目標

・作品制作を通して篆刻と刻字の知識と技能を学ぶ。
・布字の重要性を理解し、刀法の技能を習得し、自ら考え、石印材と木材板の用材の特質を活用できる。
・表現意図や表現の多様性感じ取り、主体的・創造的に制作する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	主体的かつ創造的な書道の表現をするために必要な知識や技能を身につけ、効果的に表現方法を工夫している。	書のよさや美しさを感じ取り感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現している。	書作活動の喜びを味わい、多様な表現方法や書道文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	篆刻	消しゴム小印制作 4分朱分印制作 7分白分印制作 字調べ 印稿作り 布字 奏刀 押印 印譜作成	a:材料や用具の特性を理解し、篆書を基に豊かに表現している。 b:刀法を理解し、表現しようとしている。押印を丁寧にして工夫することにより美しさを感じ取っている。 c:表現意図などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート
後半	刻字	四字句選択 草稿作成 刻字の文字の表現 彫刻刀による制作 着色 相互鑑賞	a:筆圧の変化やカスレなど、筆文字の中で刻字に適した表現を工夫している。 b:木材板を刻す技法を理解し、表現しようとしている。着色の技法について理解し、効果的に表現しようとしている。 c:表現意図などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度